

公立南丹病院広報誌

平成 21 年 6 月号



当院の第 2 病棟の屋上にはヘリポート（20×20m）が設置されており、2003 年の新病棟完成と同時に運用を開始しています。写真は去る 3 月に、京都中部広域消防組合の協力で、京都市消防局航空隊の防災ヘリによる患者搬送が行われた時のものです。阪神・淡路大震災の教訓をもとに、当院は 1997 年に京都府で 8 箇所ある災害拠点病院（地域災害医療センター）の 1 つに指定されました。南丹医療圏の拠点病院として、今後もヘリポートの有効利用が期待されています。

目 次

「当院の現状について」	副院長 大嶋 一也	2
「7 対 1 入院基本料取得」～手厚い看護を提供～	看護部長 大嶋 清子	3
「赴任のご挨拶」	平成 21 年 4 月採用医師	4
「退職のご挨拶」	前臨床検査技師長 人見 崇夫	5
「みんなのリハビリテーション」	リハビリテーションセンター 今岡 麻衣子	5
「お薬手帳をお持ちですか？」	薬剤部 和田 淳	6
「出産後のお祝い膳の提供」	栄養課 八木 成子	6



日本医療マネジメント学会 第7回 京滋学術集会 2010年2月6日（土）

「当院の現状について」

公立南丹病院副院長 大嶋 一也



公立南丹病院広報誌第2号刊行にあたり当院の現状をご紹介します。

この広報誌の役割は、多くの皆様方に南丹病院の施設や専門科などの内容を正確にかつ分かりやすくお伝えすることと思っています。ご利用の際の道しるべとなれるよう、今後も3か月ごとの刊行と内容の充実を目指しております。さて、当院は南丹医療圏の唯一の公立病院であるため、多忙な日常診療以外に、多岐にわたる医療上、教育上の責務を負っています。

今、喫緊の問題になっているのは新型インフルエンザ対策です。発熱外来をいち早く設置し、国内初の患者が出たことを受け、診療に当たるスタッフも決めました。内科医、小児科医の負担軽減のために、全科の先生方すべてが発熱外来で順番に診療に当たることにも同意してくれました。

今回の新型インフルエンザは鳥インフルエンザ程の強毒性はないとはいえ、罹患による死亡保証もなく全く医療人としての責任感で立ち上がってくれるスタッフに感謝と誇りを感じています。救急医療の分野では2次救急施設として、巷間言われている搬送拒否やたらい回しなど何処の話と、小児救急、産婦人科救急を含め、日夜多くの救急患者さんの治療に献身的にあたってお

ります。

また、救急救命士の再教育や実習にも多くの時間と労力を割いて、優秀な認定救命士の養成に協力しています。更に研修指定病院として研修医の指導や教育、大学からやってくる学生の臨床実習の指導、評価など教育者としての役割までこなしており、本業以外にも、かなりの雑務に翻弄され疲弊しているのが現状かと思えます。

そうした繁忙な環境でも優秀な人材達が、地域医療連携の充実、医療機能評価への挑戦、DPCへの移行、全電子カルテ化の推進、ホームページの刷新など着実に成果を上げ、地域の先生方、そして住民の皆様方の利便性に貢献してくれています。これからも研修医も含めて総勢75名の医師たちが全力をあげて診療にあたり、皆様方の健康と生命を守るため、研鑽を続けてまいりますのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、私の本業の産婦人科ですが、この実績ある南丹病院でさえマスコミで報道されている如く、産婦人科医師不足、助産師不足に泣いております。我々が責任を持てるお産を行うために必要とする医師の確保が困難な状況で、心ならずも分娩予約の制限をせざるを得ないのは本当に無念です。しかし、医師の目処がつけば、直ちに制限を解除いたします。そのためにも皆様方の強い要望を行政に届けていただければこれほど心強い味方はありません。

南丹医療圏唯一の分娩施設であり、少なくともこの医療圏内で、お産難民を出さないためにもスタッフ一同頑張っていく覚悟はできています。しばらくご不便をおかけしますが何卒ご理解とともにご声援を切にお願い申し上げます。

「7対1入院基本料取得」

～手厚い看護を提供～

看護部長 大嶋 清子

平成 18 年度診療報酬改定で、急性期入院医療の実態に即した看護配置を適正に評価する目的で 7 対 1 入院基本料が創設されました。この施設基準は、急性期病院における看護師の配置数によって患者さまへの良質なケア保障を意図したもので、「手厚い看護」を診療報酬において評価するものでした。

ところが高い診療報酬を得ようとしているに過ぎない動きが出て、看護師の獲得競争が激化した結果、地方の病院で深刻な看護師不足が引き起こされるなど、多くの問題が噴出しました。そこで、平成 20 年度の診療報酬改定において「手厚い看護が必要な患者が一定の割合以上いる病院等に限って届出が可能」とし、「看護必要度」の高い医療機関でなければ加算を認めないとされました。「看護必要度」とは「入院患者へ提供されるべき看護の必要量」で、看護師の忙しさに関わらず、提供されるべき看護があるという考え方が基本になっています。

当院においては、平成 20 年 8 月ごろより病院として 7 対 1 入院基本料取得の方針が出されました。そして、平成 20 年 10 月より電子カルテ看護必要度システムが導入され、全病棟において看護必要度の評価を行いました。その結果、評価対象患者さまの 27～28%が手厚い看護を必要としているという結果が出ました。このことから、当院の入院患者さまの多くは看護必要度が高く 7 対 1 入院基本料取得が必要であることが解りました。平成 20 年度は DPC 導入等による入院患者数減少や看護職員の協力を得て、平成 21 年 4 月 1 日から 7 対 1 入院基本料を取得することができました。

7 対 1 入院基本料の重要要件として、人の配置ということがクローズアップされました。このことから看護管理者として、人員確保と定着のマネジメントを行うことが重要であります。そのために当院看護部では、子育て支援、ワークライフバランスを考慮した短時間勤務の正職員、日勤勤務のみの病棟勤務等多様な勤務形態の導入等を行ない、看護師が定着することを願っています。人の確保をすることで看護必要度に基づいた人員配置をし、「手厚い看護」を提供して患者さまの安全を守ることができると考えております。

患者の高齢化、在院日数の短縮化に伴い煩雑な医療現場ですが、7 対 1 入院基本料を取得している病院として、忙しさに関わらず急性期病院として「手厚い看護」を今以上に提供したいと考えています。そして、看護職員が生き生き働くことが患者さまに満足できる看護を提供できると考えますので、看護職員がリフレッシュできる環境を整えたいと思っています。

「赴任のご挨拶」 ～4 月採用医師より～

小島 章光 (こじま あきてる)



循環器内科医員

浜松医科大学平成 19 年卒業

循環器一般

今年度より内科に勤務することになりました。よろしくお願い致します。

吉岡 美香 (よしおか みか)



消化器内科医員

自治医科大学平成 14 年卒業

消化器内科

昨年度から京都府内で勤務しております。言葉や地理など慣れないところもありますが、少しずつ地域になじんでいければと思います。よろしくお願い致します。

松岡 英子 (まつおか えいこ)



腎臓内科医員

京都府立医科大学平成 17 年卒業

透析、慢性腎臓病、その他腎疾患

府立医大から赴任してきました。腎臓内科は一人だけなので、皆さん気軽に声をかけて下さい。

山口 達之 (やまぐち たつゆき)



神経内科医長

京都府立医科大学平成 8 年卒業

神経内科一般

神経内科は、英語では neurology と言って内科とは異なる独立した診療科です。そんな神経内科の府北部の入院可能な病院は極めて限られており、特別な診療施設であることを自覚しつつ頑張りたいと思います。

齋藤 光象 (さいとう こうぞう)



神経内科医員
京都府立医科大学平成 18 年卒業
神経内科一般

毎日が新鮮であり、驚きと刺激に満ちあふれた経験をさせて頂いています。いろいろ行き届かない面もあるかと思いますが、これからの課題と苦難に精一杯に立ち向かう所存です。

岩本 在弘 (いわもと ありひろ)



外科医員
京都府立医科大学平成 9 年卒業
消化器外科

40 年前、自分が生まれた病院で仕事ができることを幸せに思います。これからも宜しくお願いいたします。

越智 史明 (おち ふみあき)



外科医員
滋賀医科大学平成 19 年卒業
消化器外科

のどかな自然に囲まれたこの南丹でのびのび働きたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

吉岡 直樹 (よしおか なおき)



整形外科医員
自治医科大学平成 14 年卒業
整形外科一般

昨年の春までの 4 年間は、長野県の地域医療に従事しておりました。大学での研修を終え、今年度からは京都府の地域医療

に少しでもお役に立てるよう頑張ります。

野々村 卓 (ののむら まさる)



整形外科医員
京都府立医科大学平成 18 年卒業
整形外科一般

6 月 1 日から整形外科医としてお世話になります。南丹病院では研修医として 2 年間働きましたが、とても働きやすい環境でした。これからもより良い医療を提供できますよう精一杯頑張りたいと思います。

谷山 市太 (たにやま いちた)



脳神経外科医員
自治医科大学平成 18 年卒業
脳神経外科一般

今春より恵飛須部長と二人で脳神経外科を担当しております。地域の脳神経外科医療に貢献できるよう尽力いたします。

谷口 智史 (たにぐち さとし)



心臓血管外科医員
滋賀医科大学平成 16 年卒業
心臓血管外科

毎日 ICU からのすばらしい眺めに心が和みます。まだ慣れない事ばかりでご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします

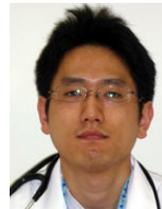
伊藤 陽里 (いとう ひさと)



小児科医長
京都府立医科大学平成 7 年卒業
小児科一般、新生児学、感染症

本年度より小児科に勤務しております。未熟児新生児医療に携わっております。宜しくお願い申し上げます。

木戸脇 智志 (きどわき さとし)



小児科医員
関西医科大学平成 18 年卒業

小児科一般

微力ながら地域医療に貢献すべく、一生懸命がんばりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

中河 秀生 (なかがわ ひでお)



泌尿器科嘱託医師
 京都府立医科大学平成 19 年卒業
 当院で 2 年間の研修を終え、泌尿器科医として働くことになりました。よろしくお願ひ致します。

高橋 三起子 (たかはし みきこ)



皮膚科医員
 和歌山県立医科大学平成 8 年卒業
 皮膚科一般

丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

辻本 淳子 (つじもと じゅんこ)



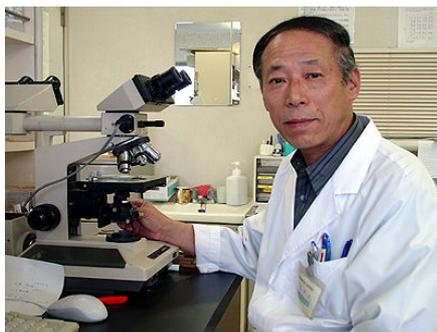
眼科医員
 福井医科大学平成 13 年卒業
 白内障、眼瞼、斜視、眼科一般

それぞれの患者さんに最適な治療を行えるように、話しやすい雰囲気を作れるように心がけています。

「退職のご挨拶」

人見 崇夫 (ひとみ たかお) 前臨床検査技師長

このたび、42 年間勤務させていただいた公立南丹病院を退職しました。振り返ってみますと医



療は大きく進歩をとげ、当病院におきましても施設の増改築・医療機器の整備、それに伴う医療スタッフの増員がなされてきました。検査部門に関しても同様に、検査技師の確保・検査機器の整備が行われ、機器に関しては大型化や自動化が進みました。技師については、昭和 40 年代は「用手法で検査していた部分の生化学」および「血液検査」が、「機器の管理」または「検査精度の管理」へと大きく変わり、それにより検査値の標準化が進み技師・施設が違っても全国どこでもほぼ同じ検査結果が得られる時代へと変わりました。しかし、現時点でも自動化が出来ない多くの検査があります。

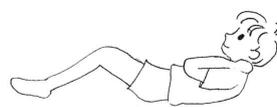
それらについては、技師の技術力の向上が不可欠になってきています。昭和 40~50 年代には治療困難な疾患で死に至るケースの多かった病気が、現代医学では治癒するケースが増加しました。最近では、患者さまも病気に対する知識を持たれ、個人で薬のこと検査のことなどよく知っておられると感じる時があります。

以前患者さまとの対話の中で「私はがんで、これから抗がん剤の点滴に行くんや」と何気なく話されていたことがあります。このように自分は「がん」だといわれることは数十年前にはなかったことと思います。患者さまの病気に対する意識も変わってきているように思います。今後益々の研鑽をつまめ、職員一丸となり地域住民の命と健康を守りつづけてほしいと思います。

● **みんなのリハビリテーション** 今岡 麻衣子

桜の季節が終わり、すっかり暖かくなりました。外出や様々な活動の機会が増える頃ですし、家事や仕事・農作業などで日々忙しくされている方も多いと思います。身体の調子はいかがですか？疲れはたまっていますか？ぜひ軽く運動して身体をいたわってください。今回は「腰痛体操」です。

1. お腹の筋肉を鍛える



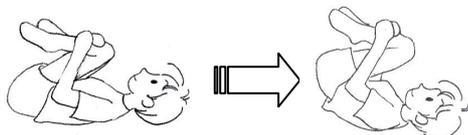
頭～肩を 25 cm ほど上げた状態で 5 秒程度止め、ゆっくりとおろします(10 回)。

手を膝に伸ばしても良いです。この時、腹式呼吸をすることがポイントです。

2.背中の筋肉を鍛える

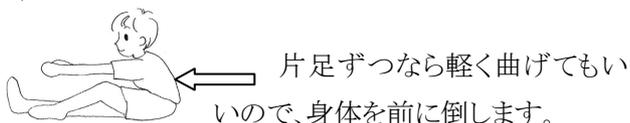
腰上げ(30回)、身体と足が一直線になるように腰を上げます。勢いはつけないように。

3.背中・おしりのストレッチ



両手で両膝を抱え、胸の方に引き寄せるように膝を引き寄せながらおしりを上げます。

4.太もものストレッチ



片足ずつなら軽く曲げてもいいので、身体を前に倒します。

5.そりかえり体操



うつぶせに寝て、顔と足を同時に持ち上げます。

6.腰ひねり体操



仰向けに寝て、右足を左足の左側に持ってきて腰をひねります。その時、上半身は動かしません。10秒程度したら、今度は左足を右足の右側に持ってきて腰をひねります。

腰痛の種類によっては、体操をやってはいけな場合があります。腰痛をおもちの方は、本院の整形外科を受診してください。

腰痛の種類によっては、体操をやってはいけな場合があります。腰痛をおもちの方は、本院の整形外科を受診してください。

●お薬手帳をお持ちですか? 和田 淳

お薬手帳には、あなたの大切な情報が書かれています。「お薬手帳」とは、自分が飲んでいるお薬の



名前、量、飲み方、使用方法、注意事項、管理の仕方などを記録しておく手帳です。

お薬をほかの病院でもらったり、街の薬局で買ったとき、飲み合わせや重複に注意が必要です。自分の薬の記録を取りましょう。処方カードを貼り、他でもらったり買ったお薬を記録しましょう

病院、診療所にかかる時や街の薬局でお薬を買う時には、必ず医師、薬剤師に手帳を見せてください。薬の重複(ダブル)や飲み合わせのチェックをすることができます。お薬手帳を、薬剤師は必ず確認しております。この情報は、薬剤師と患者さまの薬に関する情報の架け橋になるものです。

病院や薬局に行くときや、入院するときはもちろんですが、急に具合が悪くなったときのために、バッグの中に常に持ち歩きましょう。「お薬手帳」は、病院・薬局ごとに分けずに1冊にしましょう、何を書いても自由です。何でも記入して役立てましょう。

●出産後のお祝い膳の提供 八木 成子

出産は女性の人生のなかでもとりわけ大切な記念日となりますので、最近ではフランス料理のフルコース、出張料理などの豪華な食事を提供する産婦人科病院医院もふえてきています。妊産婦食の提供を当院も考える必要から栄養管理委員会で検討し、平成20年6月から出産後翌日の夕食にカードを添えたお祝い膳、出産後3日目の夕食にステーキ食を実施しています。

実施時にアンケートを配布した結果、約6割が満足との回答を得ました。退院後、病院の味付けや量がバランス良く、野菜がいっぱいなので家庭の食事に参考にしたいという声も聞かれました。副菜としての煮物・和え物・サラダ・汁もの・スープ・フルーツ盛り合わせは日替わりです。副菜は家庭料理にこだわり、野菜は季節の旬のものを使い、その時々季節感を出していけるようにと考えています。けして派手さはなく豪華な食事ではありませんが、家庭での献立の手助けになればと思っています。

【お祝い膳】



- ・赤飯
- ・ハンバーグと有頭エビフライ(添え野菜、ブロッコリー・人参グラッセ)
- ・若竹の煮物(たけのこ・ワカメ)

けのこ・ワカメ)

- ・オクラのごま和え(おくら・ごま)
- ・そうめんと結びみつばの清汁、
- ・イチゴとオレンジのフルーツ盛り合わせ(カゴ風にアレンジ)

【退院前のステーキ食】



- ・ご飯
- ・ステーキ(和牛ロース)(添え野菜、ブロッコリー・人参グラッセ)
- ・サラダ(アスパラガス、キャベツ、ミニトマト、ドレッシング)

レッシング)

- ・おくらのごま和え(おくら・ごま)
- ・若竹汁(たけのこ・ワカメ)
- イチゴとオレンジのフルーツ盛り合わせ(カゴ風にアレンジ)

診療科目名が変更になりました

「医療法施行令の一部を変更する政令」の改正に伴い、平成 21 年 4 月 1 日から本院の診療科目名が次の通り変更となりました。各専門分野の診療を今後も充実していきます。(右表一覽参照)
(従来 22 科→新診療科 26 科)

初診時の選定療養費変更のお知らせ

初診時の選定療養費は、「初期の診療は地域の医療・診療所などで、高度・専門医療は病院(200 床以上)で行う」という、医療機関の機能分担の推進を目的として厚生労働省により定められた制度で

す。このため、南丹病院のように病床数が 200 床以上の病院で初診診療を受けていただくと「選定療養費」を自己負担いただくことになります。本院では、平成 21 年 4 月 1 日から 1,050 円(消費税込)となっています。

今後、当院では地域医療充実のために、病院と地域の診療所との連携を強化していきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

〈初診時の選定療養費が不要の方〉

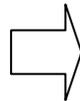
- ① 他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)をお持ちの方
- ② 救急車で来院されるなど、緊急で受診された方
- ③ 特定の疾患、障害などにより、各種公費負担医療制度を受給されている方

注)以前、当院で受診いただいた方でも、次の場合は初診となりますので、ご理解いただきますようお願い致します。

- ・ 受診いただいた時の治療期間が終了(治癒)し、その後、再び来院された方
- ・ 前回、当院での診療をご自分の都合により中断され、改めて受診された方

患者さまにおかれましては、救急受診時など特段の場合を除き、できる限り他の医療機関からの紹介状をお持ちいただきますようお願い致します。紹介状がある場合・・・初診時の選定療養費(1,050 円)は不要です。

内科
呼吸器科
精神科・神経科
循環器科
小児科
外科
整形外科
脳神経外科
呼吸器外科
心臓血管外科
小児外科
リウマチ科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
皮膚科
泌尿器科
放射線科
歯科
歯科口腔外科
麻酔科



内科
呼吸器内科 (変更)
精神科 (変更)
循環器内科 (変更)
消化器内科 (新規)
血液内科 (新規)
内分泌・代謝内科 (新規)
腎臓内科 (新規)
神経内科 (新規)
小児科
外科
整形外科
脳神経外科
呼吸器外科
心臓血管外科
小児外科
リウマチ科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
皮膚科
泌尿器科
放射線科
歯科
歯科口腔外科
麻酔科